

令和2年度 アントレプレナーシップ教育実践事例

板橋区立中根橋小学校第5学年「総合的な学習の時間」

単元名：かりんとうを販売しよう

授業の様子



令和2年11月から12月にかけて、アントレプレナーシップ教育の一環として、地元企業と連携した授業を行いました。本実践は、東京都産業労働局の支援を受けています。

地元板橋区のよさを知り、愛着をもつこと、経済活動の体験を通して、組織の一員として役割を果たし、チャレンジしていくことをねらいとした実践です。

単元の導入で、地元企業の方からかりんとうの歴史などについて直接お話を伺ったことで、児童の興味・関心が高まりました。

単元の途中では、銀行員の方や、東京都産業労働局担当者と児童がやりとりする機会があり、マナーや説明の仕方など、社会人として必要なことを学びました。

本実践のように、自分たちが考え、行動することで、様々な人に影響を与えるという体験は、児童にとって生きた知識・技能となり、貴重な学習となりました。

本実践のねらい

チャレンジ精神

郷土愛

コミュニケーション力

単元全体の学習内容

- 地元企業の方から、かりんとうの歴史、製品にかける思い等について、講演を聞く。
- 会社設立について学習する。（2クラスで10社。社長・仕入れ・宣伝など役割分担）
- 事業計画作成。融資相談・発注について体験する。（銀行員の方が児童と直接やりとり）
- 計画・仕入れ・製造について話し合う。
- 商品への包装や、ポスター・チラシ作りをする。
- 注文準備、会計について作業をする。
- 販売の会場準備
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、無人販売をする。
- 決算と振り返り
- 地元企業の方へ感謝の気持ちを込めて、お礼をする。